

Bluetooth[®]／無線LAN(Wi-Fi[®])機能をご使用の場合のお願い

Bluetooth[®]／無線LAN(Wi-Fi[®])機能について

- 本製品のBluetooth[®]機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 本製品の無線LAN機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LANやBluetooth[®]機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth[®]機能／無線LAN機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 本製品はすべてのBluetooth[®]・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth[®]・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
 - 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth[®]・無線LANの標準仕様準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth[®]・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
 - 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
 - Bluetooth[®]・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

Bluetooth®機能:2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

無線LAN機能:2.4DS/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

W52(5.2GHz帯/36, 38, 40, 44, 46, 48ch)

W53(5.3GHz帯/52, 54, 56, 60, 62, 64ch)

W56(5.6GHz帯/100, 102, 104, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

W52 | W53 | W56

パケット通信料についてのご注意

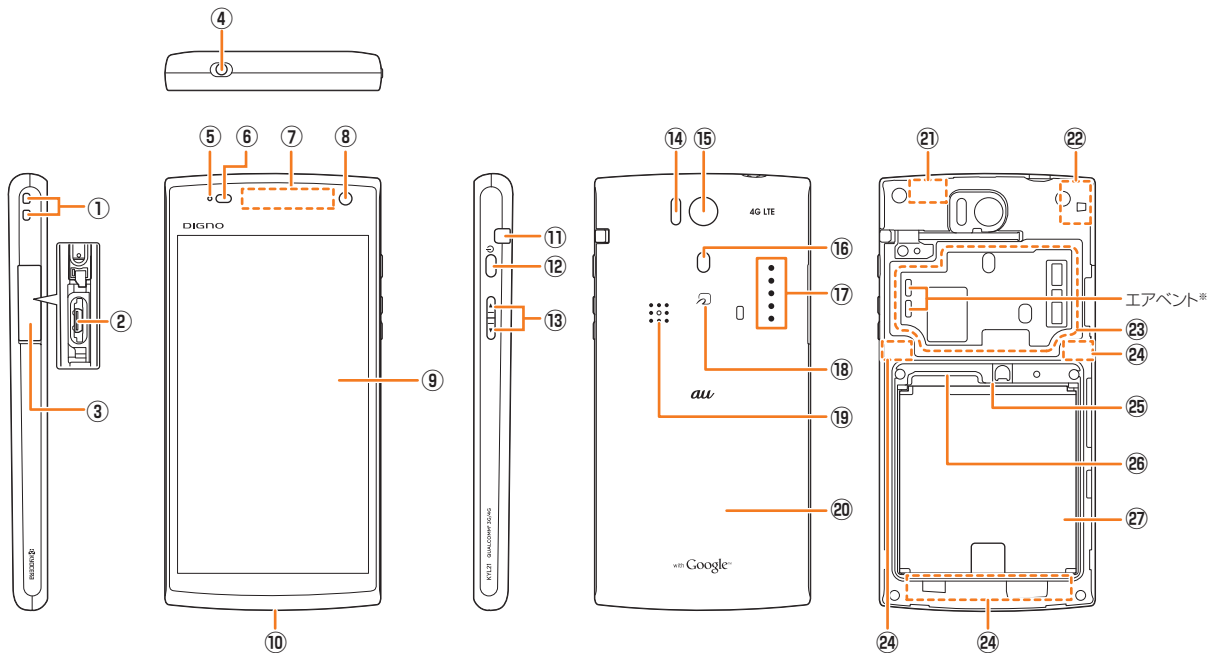
- ◎本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ◎本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります(「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります)。
※Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Google Play/au Market/アプリケーションについて

- ◎アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ◎アプリケーションによっては、microSDメモリーカードをセットしないとご利用できない場合があります。
- ◎アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- ◎本製品には搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

各部の名称と機能

ご利用の準備



- ※ 本製品は防水仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。
そのため、エアイベント(空気抜き用の穴)を設けています。
- エアイベントは防水性に影響を与えません。
 - シールなどでエアイベントをふさがらないでください。

- ① **ストラップ取付口**
- ② **外部接続端子**
共通ACアダプタ04 (別売) やmicroUSBケーブル01 (別売) などの接続時に使用します。
- ③ **外部接続端子カバー**
- ④ **イヤホンマイク端子**
- ⑤ **着信 (充電) ランプ**
充電中は赤色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
- ⑥ **近接センサー / 光センサー**
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑦ **受話部 (レシーバー)**
スマートソニックレシーバーで通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
詳しくは「スマートソニックレシーバーについて」(▶P.26) をご参照ください。
- ⑧ **インカメラ (レンズ部)**
- ⑨ **ディスプレイ**
- ⑩ **送話口 (マイク)**
通話中の相手の方はこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中やムービー録画中は、マイクを指などで覆わないようご注意ください。
- ⑪ **TVアンテナ**
TV (ワンセグ) を視聴するときには伸ばして使用します。通話時やブラウザご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。
- ⑫ **電源キー**
電源ON/OFFやスリープモードの移行 / 解除などに使用します。
- ⑬ **音量DOWN / UPキー**
音量を調節します。
スリープモード中に▶を長く押し、「すぐごえ」が起動します。
- ⑭ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。
- ⑮ **アウトカメラ (レンズ部)**
- ⑯ **撮影ライト / 簡易ライト**
- ⑰ **充電端子**
急速充電対応卓上ホルダ (KYL21PUA) を使用して充電するときの端子です。
- ⑱ **FeliCaマーク**
NFC / おサイフケータイ® 利用時にこのマークをリーダー / ライターにかざしてください。
IC通信で、データの送受信を行います。
- ⑲ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。
- ⑳ **電池フタ**
- ㉑ **Wi-Fi® アンテナ部***
- ㉒ **GPS / Bluetooth® / Wi-Fi® アンテナ部***
- ㉓ **FeliCaアンテナ部**
- ㉔ **メイン / サブアンテナ部***
- ㉕ **au Micro IC Card (LTE) 挿入口**
- ㉖ **microSDメモ리카ードスロット**
- ㉗ **電池パック**
- ※ アンテナ部付近を手で覆ったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話 / 通信品質に影響を及ぼす場合があります。アンテナ部を爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなります。また、FeliCaアンテナを剥がしてしまうと接点部も剥離して使用できなくなります。アンテナ部を引っかいたり剥がしたりしないでください。

スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

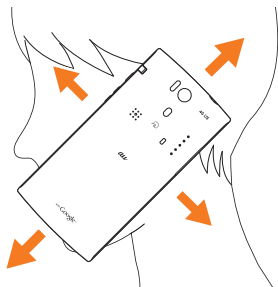
■ 耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮蔽し、音声により聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

受話部(レシーバー)



送話口(マイク)



memo

- ◎ 通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
- ◎ イヤホン(市販品)を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- ◎ ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- ◎ 聞き取りやすさには個人差があります。
- ◎ 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

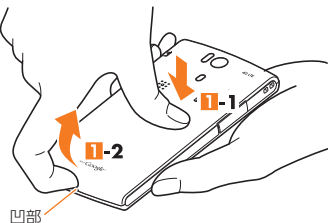
memo

- ◎ 電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り付ける

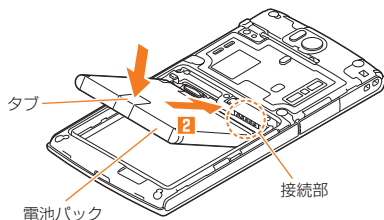
1 本体裏面の電池フタを取り外す

電池フタの中央部分を軽く押さえながら(II-1)、電池フタの凹部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します(II-2)。

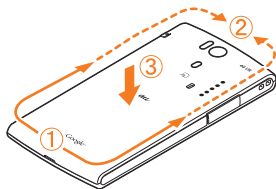


2 接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込む

タブが上に出ていることを確認してください。



3 電池フタを本体に合わせて装着してから、カバー全体に浮きがないように注意しながら①から②の方向へ矢印に沿ってなぞり、中央部③をしっかりと押す



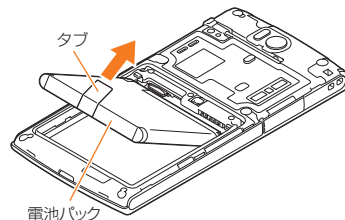
memo

- ◎ au Micro IC Card (LTE)が確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
- ◎ 取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび電池フタ破損の原因となります。
- ◎ 電池フタを取り付けるときは、電池パックのタブを挟み込まないようご注意ください。

電池パックを取り外す

1 本体裏面の電池フタを取り外す(▶P.26)

2 電池パックのタブを上引き、取り外す



3 電池フタを取り付ける(▶P.27)

memo

- ◎ 電池パックを取り外すときは、タブを上へ引くようにしてください。タブ以外の方向から持ち上げようとする、本体または電池の接続部を破損するおそれがあります。

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card (LTE)




memo

- ◎ au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本製品本体のICカード用端子には触れないでください。
 - 正しい挿入方向をご確認ください。
 - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au Micro IC Card (LTE)着脱時は、必ず指定のACアダプタなどの電源プラグを本製品本体から抜いてください。
- ◎ au Micro IC Card (LTE)を正しく取り付けしていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

■ au Micro IC Card (LTE)が挿入されていないと…

au Micro IC Card (LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

au Micro IC Card (LTE)を挿入しないで電源を入れた場合は、次の操作^{*1}を行うことができません。また、ステータスバーにが表示されます。

- 電話をかける^{*2} / 受ける
- SMSの送受信
- Eメール(～@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- UIMカードロック設定
- 自局電話番号 / 自局メールアドレスの確認

*1 上記の操作以外にも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。
*2 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

■ PINコードによる制限設定

au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。(▶P.16「PINコードについて」)

■ au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

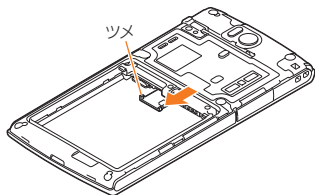
au Micro IC Card (LTE)の取り付けは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

(▶P.27「電池パックを取り外す」)

2 ツメに指をかけたトレイをまっすぐに引き出す

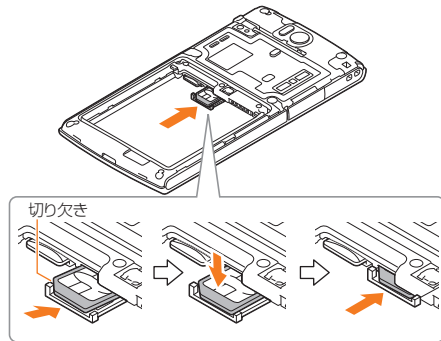
トレイは矢印位置までしか引き出せません。また、トレイを強く引くと、トレイが破損する場合があります。



3 トレイの上にIC面を上にしてau Micro IC Card (LTE)をのせ、トレイとau Micro IC Card (LTE)を奥まで押し込む

切り欠きの方向にご注意ください。

トレイを奥まで押し込んだ際の正しい位置は、au Micro IC Card (LTE)の端が少し見える程度の位置です。



4 電池パック・電池フタを取り付ける(▶P.27)

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

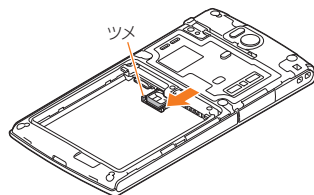
au Micro IC Card (LTE)の取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

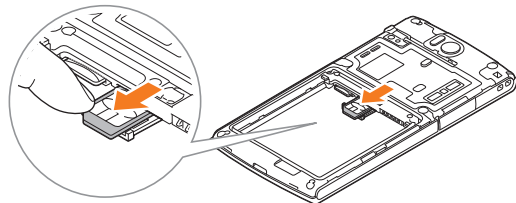
(▶P.27「電池パックを取り外す」)

2 ツメに指をかけたトレイをまっすぐに引き出す

トレイは矢印位置までしか引き出せません。また、トレイを強く引くと、トレイが破損する場合があります。



3 au Micro IC Card (LTE)をスライドさせるようにして取り外す



4 電池パック・電池フタを取り付ける(▶P.27)

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが消灯したら充電完了です。充電時間とご利用可能時間は、次の通りです。

■ 充電時間(目安)

本製品の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)	約140分
共通ACアダプタ04(別売)	約170分
共通DCアダプタ03(別売)	約380分

■ ご利用可能時間

連続待受時間*	約580時間(LTEエリア)
	約720時間(3Gエリア)
連続通話時間*	約1140分

*日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.67)をご参照ください。

memo

- 充電中、本製品本体と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- 電池パックは、「安全上のご注意」(▶P.5)をよくお読みになってお取り扱ってください。
- 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります。電池のもちが悪くなります。
- 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- 電源端子・充電端子は、ときどき乾いた綿棒などで、端子が変形しないように注意して掃除してください。汚れていると正常に充電されない場合があります。
- 水分やほこりなどが入らないように、外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 連続待受時間および連続通話時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
 - ■(圏外)が表示される場所での使用が多い場合
 - Wi-Fi®機能、メール機能、カメラ機能、TV(ワンセグ)機能、位置情報などの使用
 - アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
 - バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合
- 充電中、充電ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、■(十分)が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

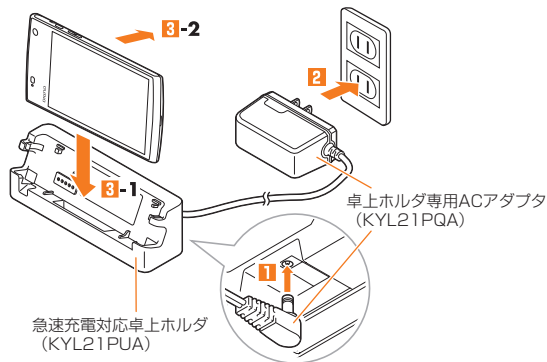
■急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)を使って充電する

付属の急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)と卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)を使用すると、従来よりも短い時間で急速に充電することができます。

・急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)には、卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)を接続してご使用ください。

- 1 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)のプラグを急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)の外部接続端子にまっすぐに差し込む
- 2 卓上ホルダ専用ACアダプタ(KYL21PQA)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む
- 3 3-1、3-2の順に本製品を急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)に差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

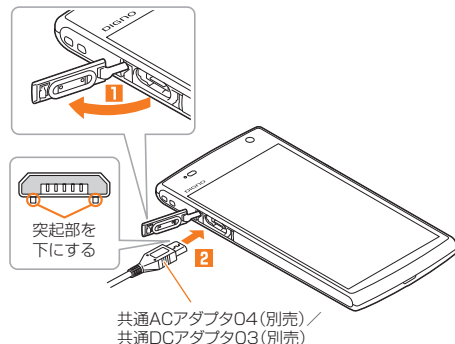


4 充電が終わったら、本製品を手前に倒すようにして急速充電対応卓上ホルダ(KYL21PUA)から取り外す

■指定のACアダプタ(別売)/DCアダプタ(別売)を使って充電する

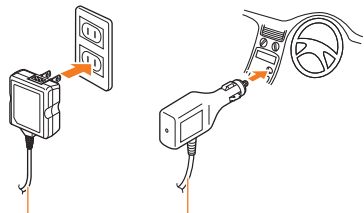
共通ACアダプタ04(別売)/共通DCアダプタ03(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)/DCアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.62)をご参照ください。

- 1 本製品の外部接続端子カバーを開ける
- 2 共通ACアダプタ04(別売)/共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む



3 共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む／共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライターソケットに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯します。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに■が表示されます。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



共通ACアダプタ04(別売) 共通DCアダプタ03(別売)

4 充電が終わったら、外部接続端子から共通ACアダプタ04(別売)／共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

5 外部接続端子カバーを閉じる

6 共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントから抜く／共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライターソケットから抜く



memo

- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

■ パソコンを使って充電する

microUSBケーブル01(別売)を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

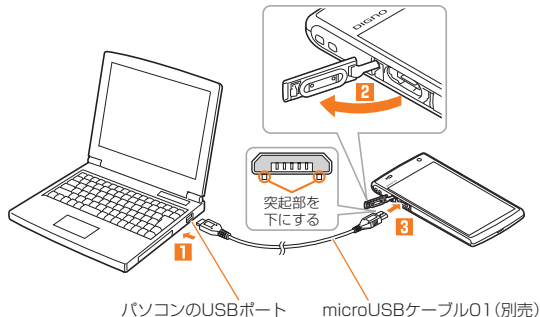
1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品の外部接続端子カバーを開ける

3 microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

- ・ パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



4 充電が終わったら、microUSBケーブル01(別売)を外部接続端子とパソコンから取り外す





memo

- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くなる場合があります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

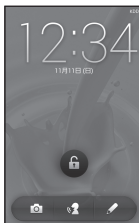
電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで を長く押す

しばらくすると、ロック解除画面が表示されます。「」をタップ(▶P.35)するとロックが解除され、ホームスクリーン(▶P.36)が表示されます。「」/「」/「」をタップしてロックを解除すると、カメラ/すぐごえ/すぐ文字が起動します。

・お買い上げ時、初めて電源を入れたときは、au ID設定などを行える「auかんたん設定」が起動します。「au IDの設定をする」(▶P.34)の操作②以降を参照して、必要に応じて設定を行ってください。

また、ホームスクリーンについての説明画面も表示されますので、確認後「OK」をタップしてください。



《ロック解除画面》

memo


- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ 不在着信や新着メールなどがあるときは、ロック解除画面にアプリケーションのアイコンが表示されます。タップするとロックが解除され、対応するアプリケーションが起動します。
- ◎ お買い上げ時に「auかんたん設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます(▶P.34)。
- ◎ 電源を入れたときに充電ランプが黄色で点滅している場合は、起動するの電池残量が十分でないことを示しています。充電してお使いください。

電源を切る

1 (1秒以上長押し)

2 [電源を切る]→[OK]


スリープモードについて

 を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に


ロック解除画面が表示されます。

memo

- ◎ スリープモード中に  を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

au IDの設定をする

au IDを設定すると、au MarketやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。「auかんたん設定」を利用すると、au ID設定などを行うことができます。

- 1 ホームスクリーン→→[auかんたん設定]
- 2 [次へ]→[登録]→[OK]→[au IDの設定・保存]
- 3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。
引き続き、画面の指示に従って操作してください。



memo

◎ au IDのみ設定する場合は、「au ID 設定」を利用することもできます。

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。

GoogleアカウントがセットアップされていないときにGoogleアカウントが必要なアプリケーションや機能を起動すると、セットアップ画面が表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

■Googleアカウントをすでにお持ちの場合


- 2 [既存のアカウント]→メールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]

3 画面の指示に従って操作

■Googleアカウントをお持ちではない場合

- 2 [新しいアカウント]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録

■ログインできない場合

- 1 ホームスクリーン→ (ブラウザ)→URL表示欄を選択→[http://www.google.com/accounts/recovery/]を入力→[実行]
- 2 ログインできない理由を選択→必要に応じてメールアドレスを入力→[続行]
- 3 画面の指示に従って操作

基本操作

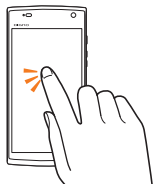
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物をディスプレイに乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

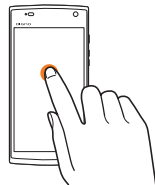
■ タップ / ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



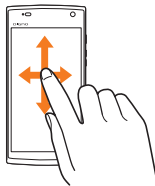
■ ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。



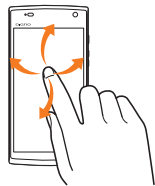
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



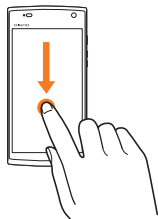
■ 指を広げる / 狭める

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。



■ ドラッグ


画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のキーが表示されます。

: 1つ前の画面に戻ります。

: ホームスクリーンを表示します。

: 最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。

画面によっては、上記以外のキーが表示されることがあります。


縦／横画面表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

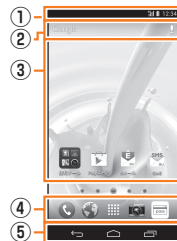


- ◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- ◎ 縦／横画面表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」で設定できます。
- ◎ アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホームスクリーンを利用する

ホームスクリーンにはショートカットやウィジェット、フォルダを追加することができます。「

- ① ステータスバー
- ② クイック検索ボックス
- ③ ショートカット／ウィジェット／フォルダ
お買い上げ時は、便利ツールなどが表示されます。
- ④ クイック起動エリア
- ⑤ ナビゲーションバー



《ホームスクリーン》

■ ホームスクリーンを切り替える

ホームスクリーンは複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると切り替えることができます。



(ホームスクリーンの切り替えイメージ)

- ・ 初回切り替え時には、説明画面が表示されます。
- ・ ホームスクリーンの画面下部には現在の表示位置を示すインジケータが表示されます。
インジケータをタップしてホームスクリーンを切り替えることもできます。



memo

◎ お買い上げ時には左右に2枚ずつ、合計5枚のホームスクリーンがあらかじめ設定されています。

■ ホームスクリーンを編集する

ホームスクリーンで指を狭めるとサムネイルが表示され、ホームスクリーンの追加／削除や並び替えなどの操作ができます。ホームスクリーンは最大9枚まで追加することができます。

memo

◎ ホームスクリーン→空きスペースをロングタッチ→[壁紙]と操作すると、ホームスクリーンの壁紙を変更できます。ライブ壁紙を設定すると、電池の消費が激しくなりますのでご注意ください。

ホームスクリーンにウィジェット／ショートカット／フォルダを追加する

アプリケーションのウィジェットやショートカット、フォルダをホームスクリーンに追加できます。

■ ウィジェット／ショートカットを追加する場合

1 ホームスクリーン→空きスペースをロングタッチ→[ウィジェット追加]／[ショートカット追加]

2 ウィジェット／アプリケーションをタップ

ホームスクリーンの空きスペースに自動で追加されます。

■ フォルダを作成する場合

ショートカットをドラッグして他のショートカットに重ねるとフォルダが作成され、複数のアイコンを収納できます。

memo

◎ 操作**2**でウィジェット／アプリケーションをロングタッチすると、ホームスクリーンのサムネイルが表示されます。表示する位置へドラッグして指を離すと、追加できます。

◎ 表示しているホームスクリーンに空きスペースがない場合などは追加できません。

フォルダについて

◎ フォルダを選択→フォルダ下部のフォルダ名をタップ→フォルダ名を入力→[完了]と操作すると、フォルダ名を変更できます。

◎ フォルダをタップして、表示されるショートカットをドラッグしてフォルダの外に移動すると、フォルダから削除することができます。

◎ ショートカットが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

■ ウィジェット／ショートカット／フォルダを移動／削除する

1 移動／削除するウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

■ 移動する場合

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

■ 削除する場合

2 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す



○ ホームスクリーンの左端または右端にドラッグすると、ホームスクリーンのサムネイルが表示され、表示したい位置に移動できます。

■ 便利ツール／My Selectionを利用する

便利ツール／My Selectionは、よく利用するアプリケーションのショートカットを、ホームスクリーン上にまとめておけるフォルダ／ウィジェットです。



便利ツール(フォルダ)



My Selection(ウィジェット)

1 ホームスクリーン→[便利ツール]／[My Selection]

2 起動するアプリケーションのショートカットをタップ アプリケーションが起動します。

■ 便利ツール／My Selectionを編集する

便利ツール／My Selectionでは、ショートカットをロングタッチして入れ替えや削除の操作を行うことができます。また、My Selectionでは[編集]→アプリケーションを選択、と操作すると、ショートカットを追加できます。

アプリ一覧を利用する

インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

1 ホームスクリーン→[編集]

アプリ一覧が表示されます。

初回起動時には、アプリの選択についての説明画面が表示されます。確認後、「OK」をタップしてください。

① カテゴリータイトル

タップすると、タイトル一覧を表示します。

ロングタッチすると、タイトルを変更できます。

② メニューアイコン

アプリ一覧のメニューを表示します。




《アプリ一覧(カテゴリー順)》

2 起動するアプリケーションのアイコンをタップ

アプリケーションが起動します。

memo

- 「シンプルメニュー設定」(▶P.39)がオンに設定されている場合は、ホームスクリーンで「」をタップするとシンプルメニューが表示されます(▶P.40)。
- ダウンロードしたアプリケーションは、アプリ一覧の「ダウンロードしたアプリ」のページに配置されます。
- 各アプリケーションからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

■ 主なアプリケーション

アイコンの表示名	ページ
すぐごえ 音声入力で、アプリケーションを起動できます。	—
すぐ文字 入力した文字を利用して、アプリケーションを起動できます。	—
赤外線	—
アラーム	—
カレンダー	—
電卓	—
おサイフケータイ	—
メモ帳	—
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	—
簡易ライト	—
省電力ナビ 電池の消耗を最小値に抑えるように設定します。	P.55
ファイル管理 microSDメモリーカード内のデータを一覧で表示し、再生を行うことができます。	—
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	—
設定	P.60

アイコンの表示名	ページ
電話	P.51
ブラウザ	—
カメラ	—
auスマートパス	—

memo

- その他にもアプリケーションは搭載されています。詳しくは「取扱説明書詳細版」をご参照ください。

■ アプリ一覧のメニューを利用する

1 アプリ一覧→

2 シンプルメニュー設定	シンプルメニューのオン/オフを切り替えます。
アプリの表示順	アプリ一覧を「50音順」「ダウンロード順」「カテゴリ順」で切り替えます。
アプリの並び替え	▶P.40「アプリ一覧のアイコンを移動する」
アプリの管理	アプリ管理画面が表示されます。
端末設定	▶P.60「機能設定」

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

アプリ一覧のアイコンを移動する

アプリの表示順が「カテゴリー順」の場合、アプリケーションのアイコンをアプリ一覧内の別の位置へ移動できます。

- 1 アプリ一覧→[]→[アプリの並び替え]
- 2 アイコンをロングタッチ→移動する位置までアイコンをドラッグして、指を離す→[完了]

クイック起動エリアを利用する

よく使うアプリケーションをホームスクリーンのクイック起動エリアに配置できます。

クイック起動エリアは、ホームスクリーンのどの画面でも固定で表示されます。お買い上げ時には、電話、ブラウザ、カメラ、auスマートパスが登録されています。

- 1 アプリ一覧→アイコンをロングタッチ→ホームスクリーンのサムネイルにアイコンをドラッグして、指を離す
- 2 ホームスクリーンに移動したアイコンをロングタッチ→クイック起動エリアにアイコンをドラッグして、指を離す

memo

- ◎ クイック起動エリアに空きスペースがない場合でも、すでにあるアイコンに追加したいアイコンを重ねてフォルダを作成することもできます。

シンプルメニューを利用する

「シンプルメニュー設定」(▶P.39)をオンに設定すると、基本的な機能を配置した「シンプルメニュー」が表示されるようになります。アイコンを選択するとアプリケーションを起動できます。

- 1 ホームスクリーン→[]
シンプルメニューが表示されます。



(シンプルメニュー)

memo

- ◎ シンプルメニューのアプリケーションは変更できません。